

経営比較分析表（平成28年度決算）

愛知県西尾市 西尾市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	17	対象	未訓ガ	救 臨 災 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
171,212	26,176	非該当	7：1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU 未…未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

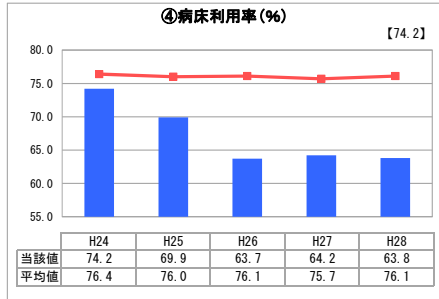
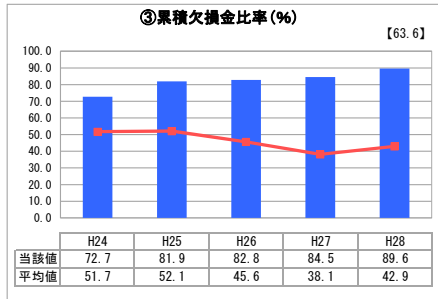
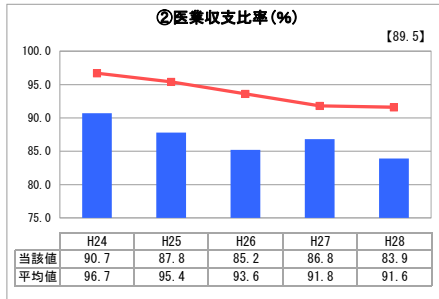
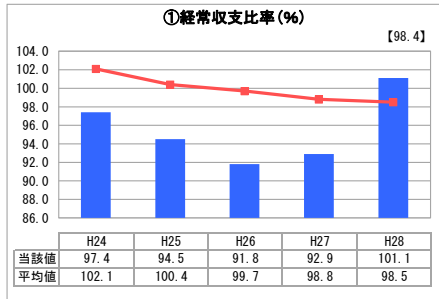
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
400	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	400
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
308	-	308

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

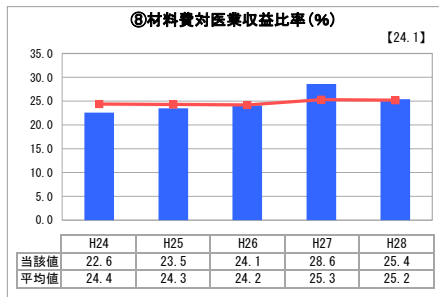
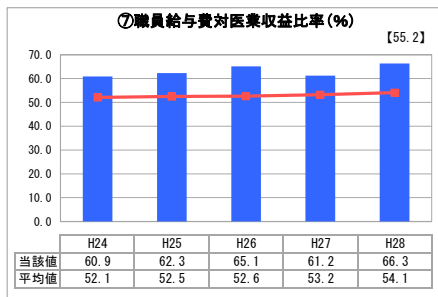
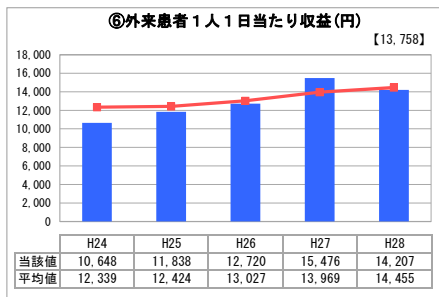
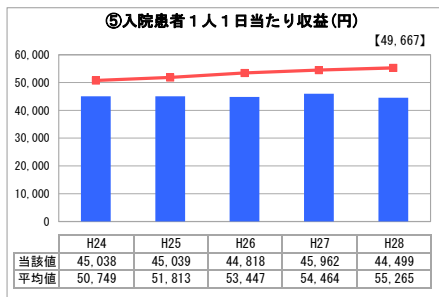


「経常損益」

「医業損益」

「累積欠損」

「施設の効率性」



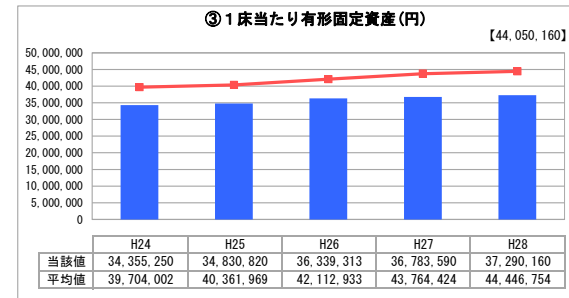
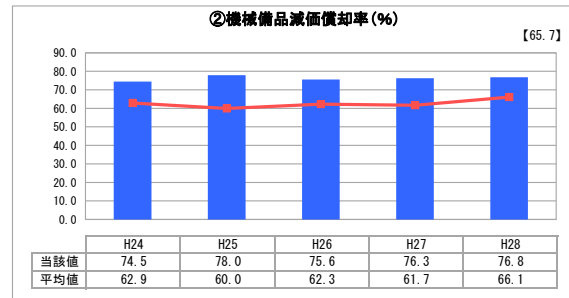
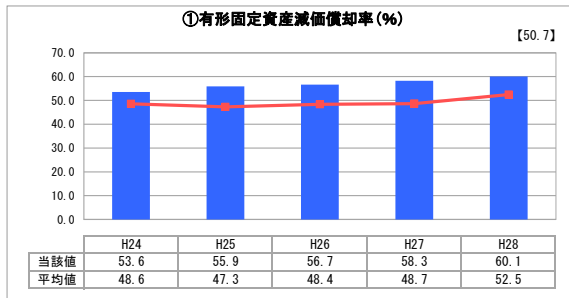
「収益の効率性①」

「収益の効率性②」

「費用の効率性①」

「費用の効率性②」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」

「機械備品の減価償却の状況」

「建設投資の状況」

I 地域において担っている役割

西尾市民17万人の命を守る地域の中核病院として、急性期医療と急性期を脱した患者の在宅に向けた医療を提供していく役割を担うとともに、地域の開業と連携して、地域完結型医療に取り組んでいます。近年、増加基調である当院への救急車による搬送件数も年間約4,000台あり、近隣の公立病院を上回る水準となっています。また、災害時には、西尾市医師会、地域の医療機関と連携し、被災地への医療の確保、被災した地域へ医療支援を行うため、地域の災害拠点病院の中心的役割を担っております。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①【経常収支比率】平成28年度は100%を超えており、これは国の繰上基準以上の繰入金に伴うもので、長期的な経営改善（改革プランの実行）に努めてまいります。②【医業収支比率】医業費用は減少傾向にありますが、医師不足による入院及び外来患者数の減少に伴う医業収益の減少に伴うものです。③【累積欠損金比率】平成28年度を除き、毎年欠損金を計上しており、収益向上に向けた経営改善（改革プランの実行）が必要と考えております。④【病床利用率】毎年、入院患者数は減少傾向にあり、平成28年10月から地域包括ケア病棟への変更や一部病棟の休床を実施し、改善に努めてまいります。⑤【入院患者1人1日当たり収益】常勤医師の不足により、平均値を大きく下回っており、改革プランに沿った常勤医師の確保が必要と考えております。⑥【外来患者1人1日当たり収益】適正水準と考えます。⑦【職員給与費対医業収益比率】平均値より高く推移しており、平成28年10月から地域包括ケア病棟への変更や一部病棟の休床を実施し、職員配置の適正化に取り組んでおります。⑧【材料費対医業収益比率】平成27年度を除き、ほぼ平均値で推移しております。なお、平成27年度は高額医薬品（C型肝炎治療薬）による影響です。

2. 老朽化の状況について

①【有形固定資産減価償却率】病院本体は、平成元年度に建設されており、27年を経過しており、法定耐用年数も残り12年となっております。今後、施設の長寿命化等の施設整備計画の策定に向け、検討する必要がありますと考えております。②【機械備品減価償却率】施設同様、機械備品においても、平均値より老朽化率が高いですが、病院収益が減少傾向にあり、機器更新が出来ておらず、計画的な更新が必要であると考えております。③【1床当たり有形固定資産】平均値より低い水準で推移しており、将来的な収益の支出の増加傾向でないことがいえます。

全体総括

平成28年度は、国が2年ごとに実施する診療報酬改定があり、急性期医療における医療・看護必要度などの施設基準で厳格化が図られ、当初から医業収益は大幅に落ち込み、資金不足の問題が生じました。短期的な対応として、一般会計からの追加繰入れを図り、長期的な対応では、病床機能の見直しや病棟再編を検討し、1病棟の休床及び1病棟を地域包括ケア病棟への変更すること、段階的な人員調整を通じて、人員費の抑制を図ることとしました。また、最重要課題としている医師不足問題を抱えつつ、こうした外部環境の変化にも的確に対応し、西尾市民の健康を守ることを使命とし、西尾市民病院中期計画や西尾市民病院改革プランで計画した各取組みを着実に実行していきたいと考えております。

※ 「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。